



【作品2】初夏の光に輝く

ポピー



■レッスン内容

- Word の図形機能に用意されている図形を組み合わせることで「ポピー」のイラストを描く方法について学習します。
- イラストの描画には、Word で図形描画を行うために用意されている「描画キャンバス」を使用します。

■前提となる知識

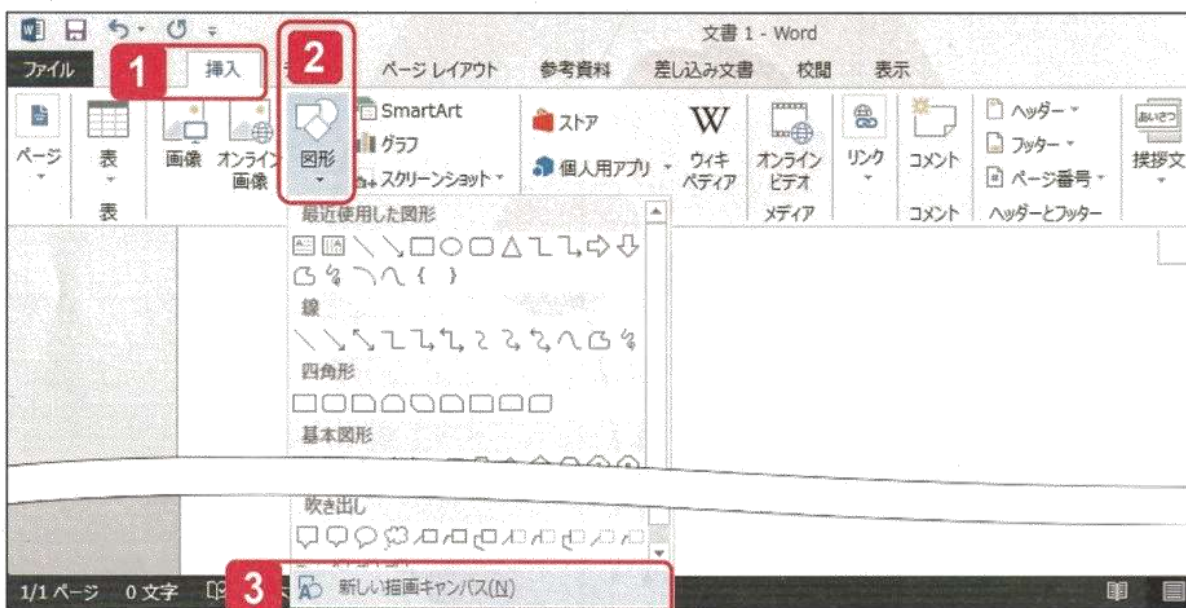
- Word の基本操作（Word の起動と終了、ファイルの保存など）ができることを前提としています。

Step 1 ポピーの「茎」を描きます。

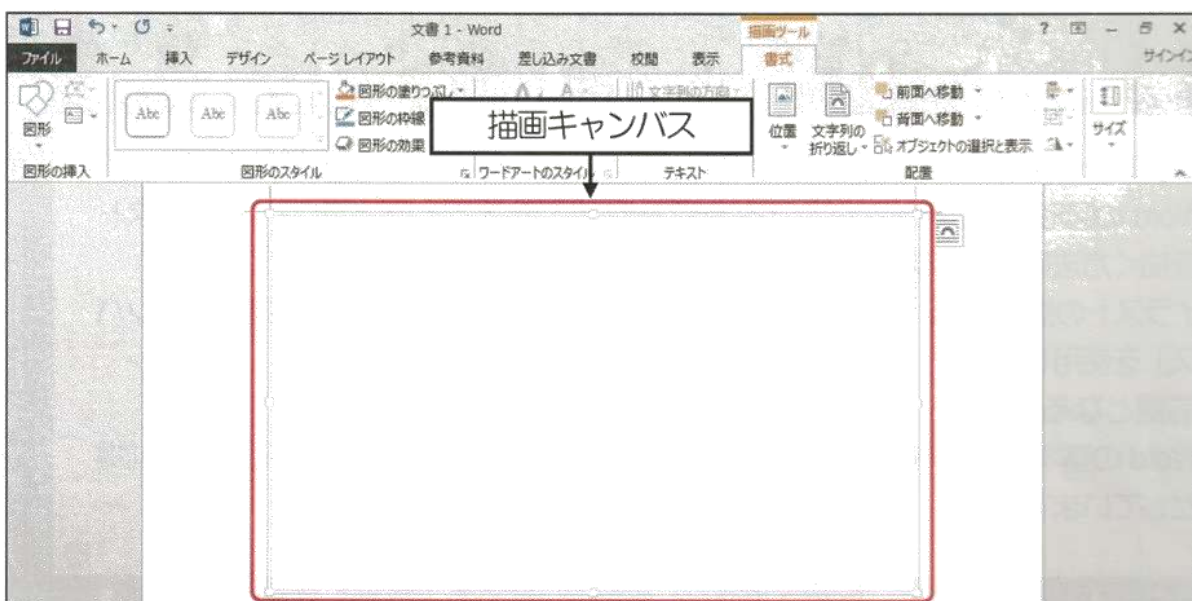
操作手順の解説は、Word を起動して白紙の文書を開いた時点からの開始となります。

操作開始

- 1 [挿入] タブをクリックします。
- 2 [図] グループにある [図形の作成] をクリックします。
- 3 表示される図形の一覧メニューの [新しい描画キャンバス] をクリックします。

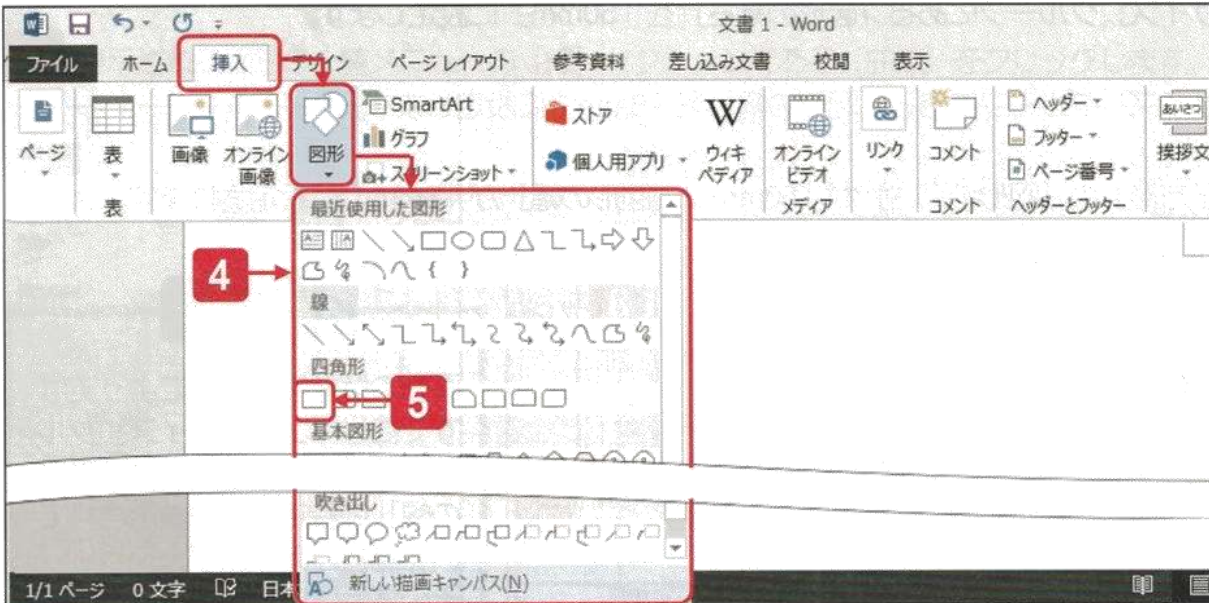


編集ウィンドウに描画キャンバスが表示されます。これ以降の操作は、すべて描画キャンバス内で行います。



4 1 から 2 までと同様の操作で図形の一覧メニューを表示します。

5 表示される図形の一覧メニューの [四角形] セクションにある [正方形/長方形] をクリックします。

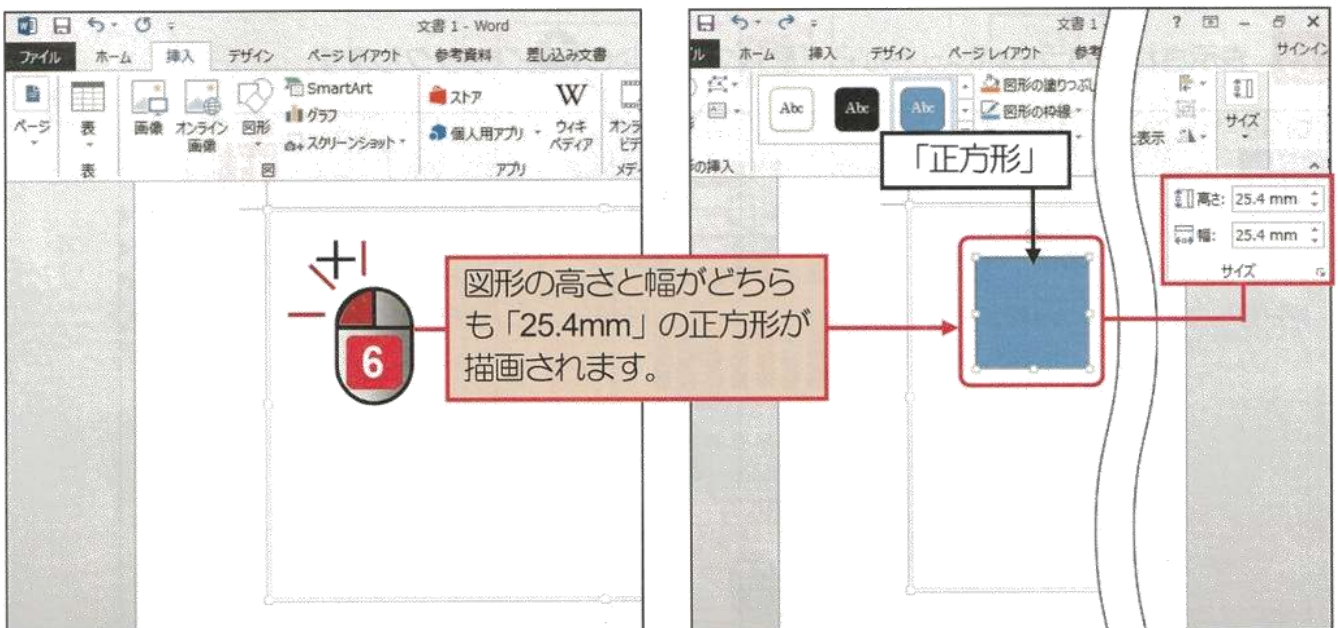


6 描画キャンパスの左上端でクリックします。

図形の高さと幅がともに「25.4mm」の「正方形」が描画されます。塗りつぶしの色および図形の枠線の色や太さは既定のままです。

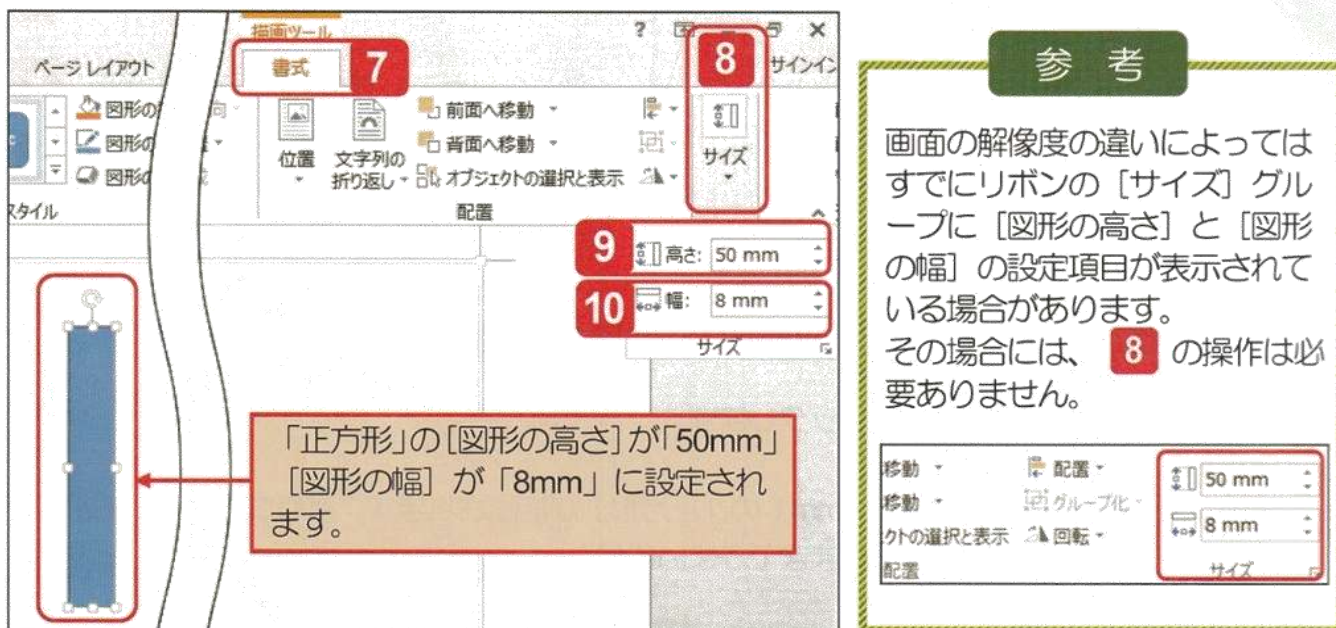
操作のポイント

[図形] 機能の図形の一覧メニューから図形を選択すると、マウスポインターが [+] の形になります。そのまま描画キャンパス内でクリックすると、[正方形/長方形] の場合は図形の高さと幅がどちらも「25.4mm」の正方形が描画されます。



- 7 「正方形」が選択されている状態で、[描画ツール] の [書式] タブをクリックします。
- 8 [サイズ] をクリックして [サイズ] グループを表示します。
- 9 [サイズ] グループにある [図形の高さ] を「50mm」に設定します。
- 10 [サイズ] グループにある [図形の幅] を「8mm」に設定します。

「正方形」の [図形の高さ] が「50mm」、[図形の幅] が「8mm」に設定されます。



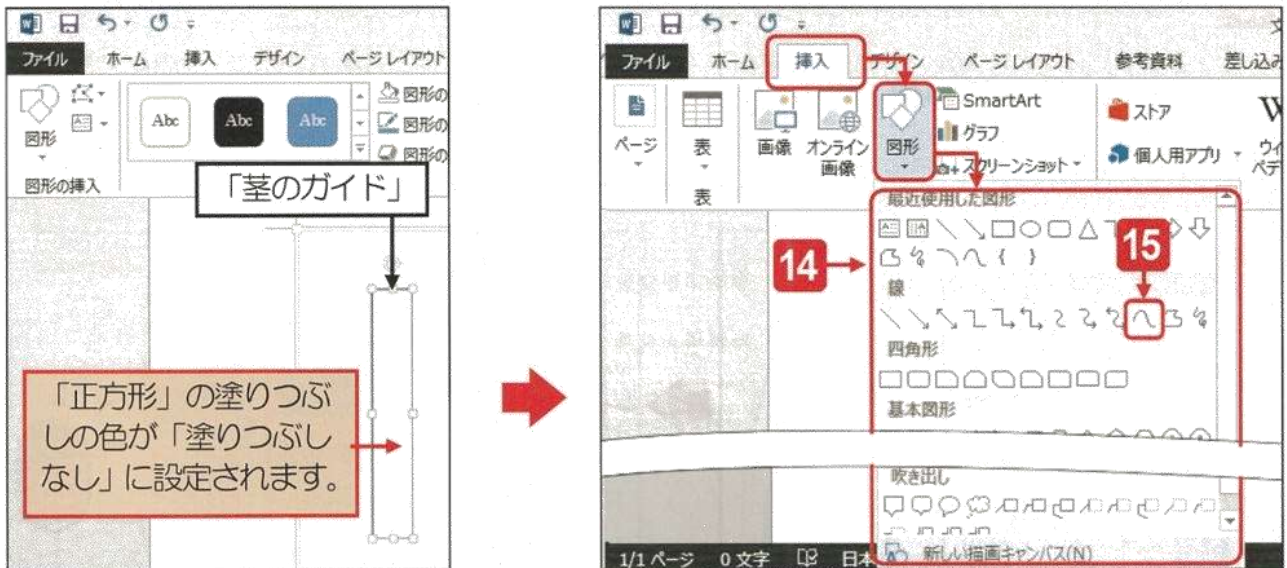
- 11 「正方形」が選択されている状態で、[描画ツール] の [書式] タブをクリックします。
- 12 [図形のスタイル] グループにある [図形の塗りつぶし] の右端にある [下向き三角(▼)] ボタンをクリックします。
- 13 表示されるカラーパレットから [塗りつぶしなし] をクリックします。



「正方形」の塗りつぶしの色が「塗りつぶしなし」に設定されます。これを「茎のガイド」とします。

14 1 から 2 までと同様の操作で図形の一覧メニューを表示します。

15 表示される図形の一覧メニューの「線」セクションにある「曲線」をクリックします。

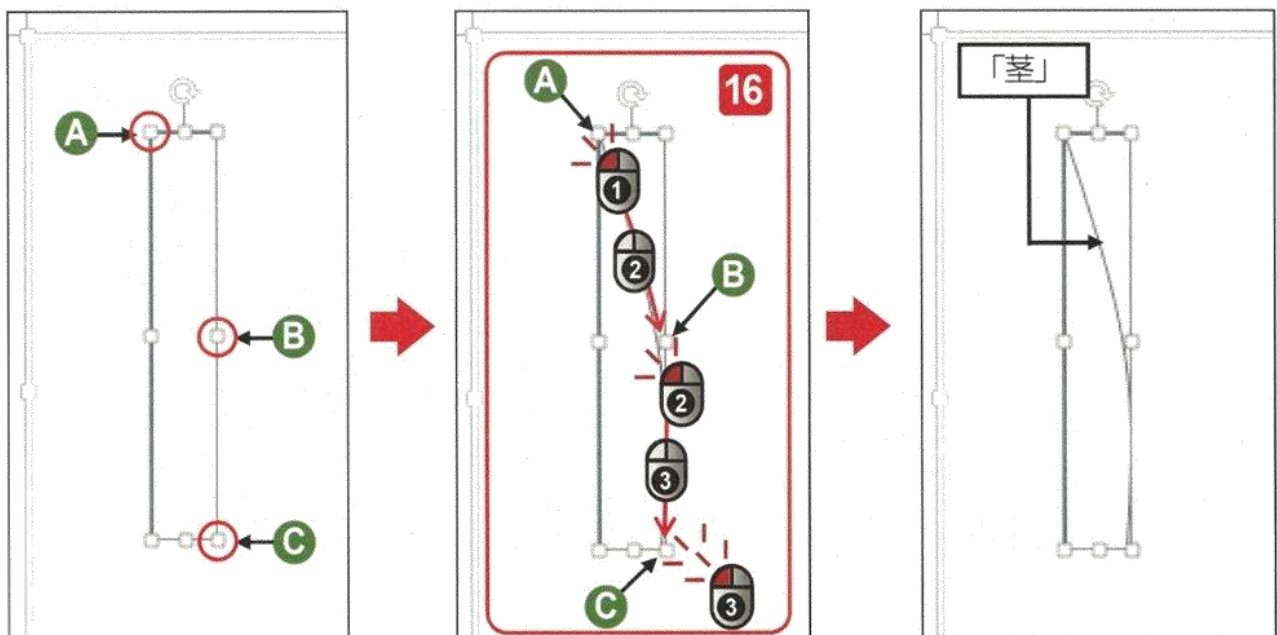


16 次のマウス操作を連続して行います。

- 1 「茎のガイド」の **A** の位置でクリック
- 2 おおよそ **B** の位置まで移動してクリック
- 3 おおよそ **C** の位置まで移動してダブルクリック

この操作でおおまかに **A**、**B**、**C** を結ぶ曲線が描けます。これを「茎」とします。

このあとの操作で「茎」の枠線の色や太さの設定を行うので、ここでは既定の色と太さのまま描画して下さい。（次の図は、操作をわかりやすくするために拡大しています。）



17 「茎」をドラッグして「茎のガイド」の右横に移動します。

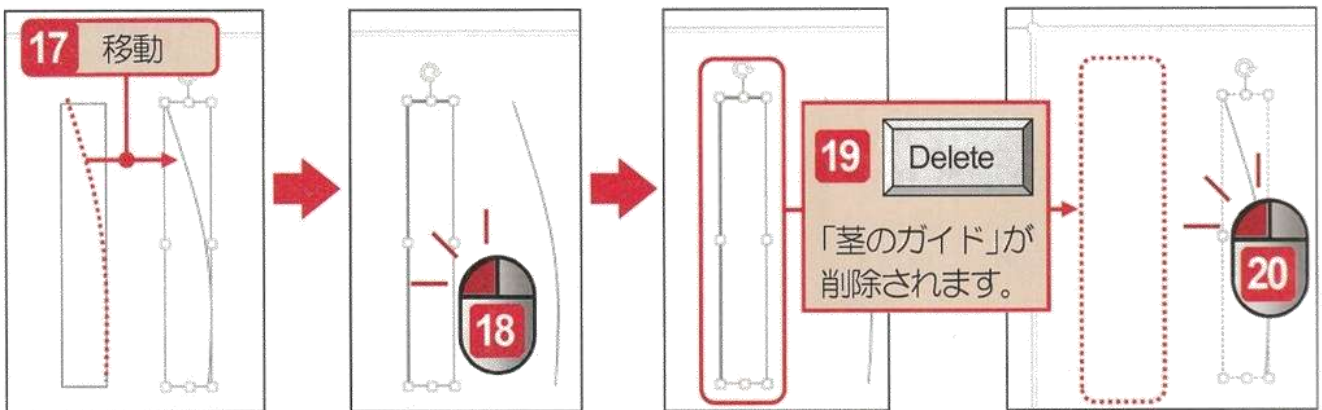
18 「茎のガイド」の枠線の上をクリックして「茎のガイド」を選択します。

注意: 「茎のガイド」は「塗りつぶしなし」の設定のため、「茎のガイド」の枠線の内側をクリックしても図形を選択することができません。

19 「茎のガイド」が選択されている状態で、[Delete] キーを押します。

「茎のガイド」が削除されます。

20 「茎」をクリックします。



21 「茎」が選択されている状態で、[描画ツール] の [書式] タブをクリックします。

22 [図形のスタイル] グループにある [図形の枠線] の右端にある [下向き三角 (▼)] ボタンをクリックします。

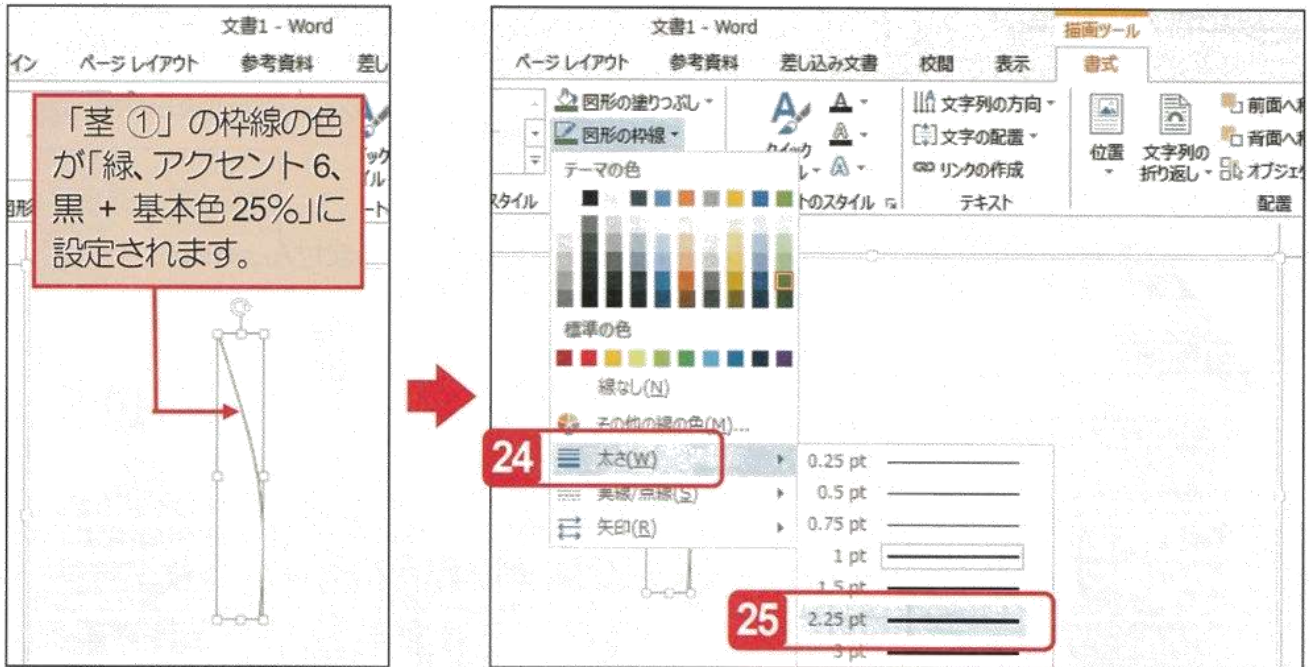
23 表示されるカラーパレットから [緑、アクセント 6、黒 + 基本色 25%] をクリックします。



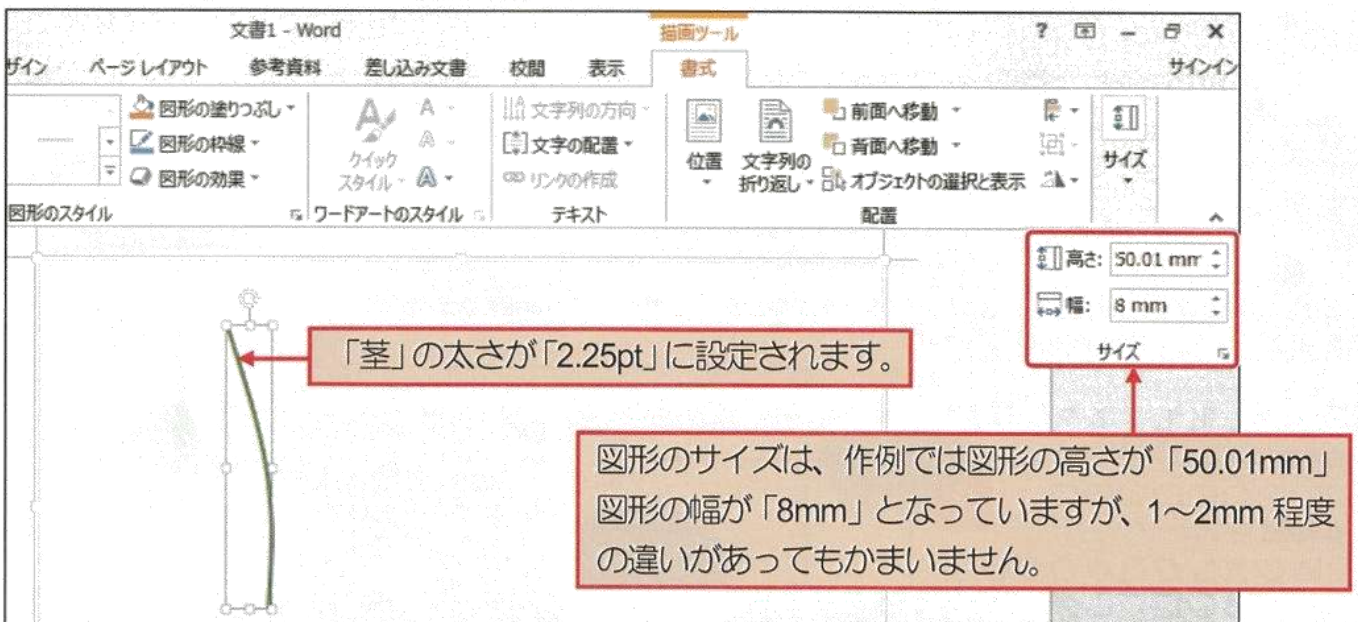
「茎」の枠線の色が「緑、アクセント6、黒 + 基本色25%」に設定されます。

24 「茎」が選択されている状態で、**21** から **22** までと同様の操作で [図形の枠線] のカラーパレットを表示して [太さ] をポイントします。

25 表示されるメニューから [2.25pt] をクリックします。



「茎」の太さが「2.25pt」に設定されます。図形のサイズは、作例では図形の高さが「50.01mm」図形の幅が「8mm」となっていますが、1~2mm 程度の違いがあってもかまいません。



ここまでの操作でポピーの「茎」を描くことができました。

ここまでの操作を「ポピー.docx」というファイル名を付けて保存しておきましょう。

操作終了

Step 2 ポピーの「花」を描きます。

Step 1 で学習した図形の描き方をもとにポピーの「花」を描いていきましょう。
なお、Step 1 で解説済みの図形描画については、設定内容と操作結果のみを記述しています。

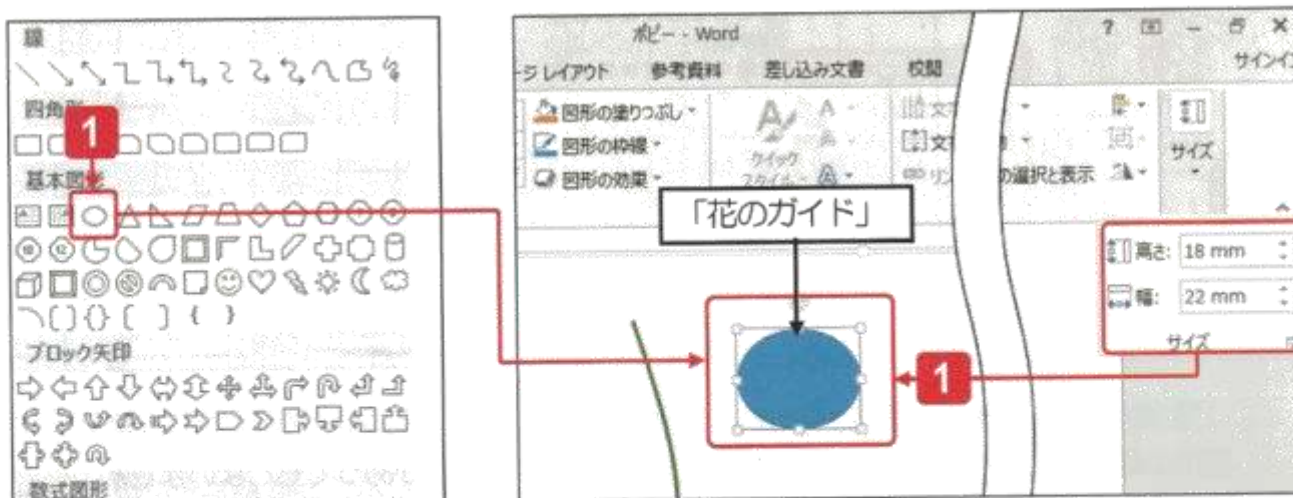


操作開始

- 1 「茎」の右横に [基本図形] セクションにある [円/楕円] を使用して、次の設定の楕円を描きます。これを「花のガイド」とします。

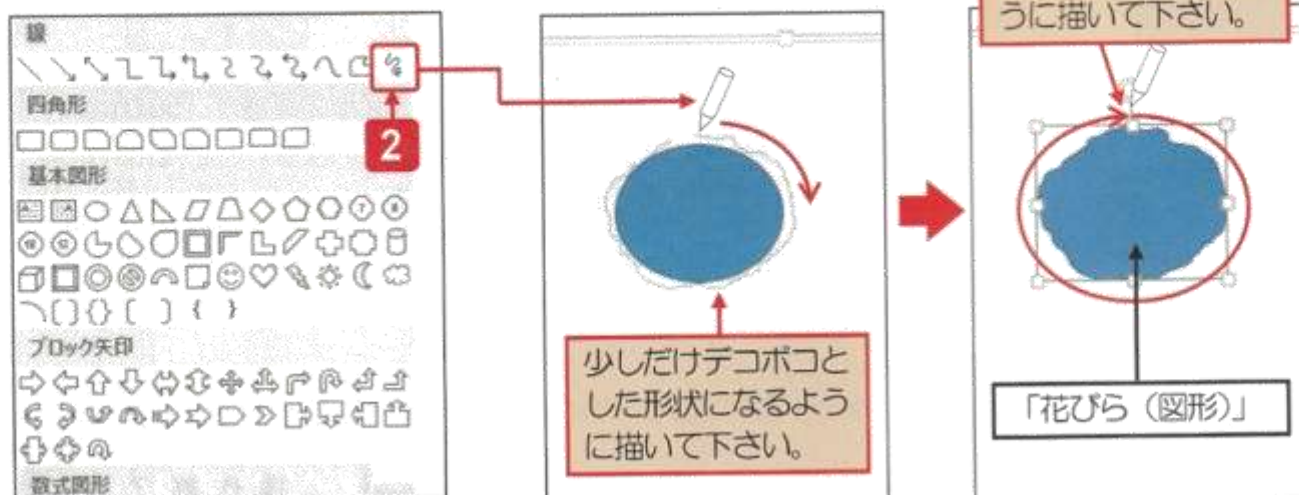
[サイズ] - [図形の高さ]: 18mm [図形の幅]: 22mm

塗りつぶしの色および図形の枠線の色や太さは既定のままでかまいません。



- 2 次の図を参考に [線] セクションにある [フリーハンド] を使用して、「花のガイド」の外側をなぞります。この線がポピーの花びらの輪郭となるので、少しだけデコボコとした形状になるように描いて下さい。線の色は既定のままでかまいません。線は描画の開始点と終了点が一一致するように描いて下さい。これを「花びら (図形)」とします。

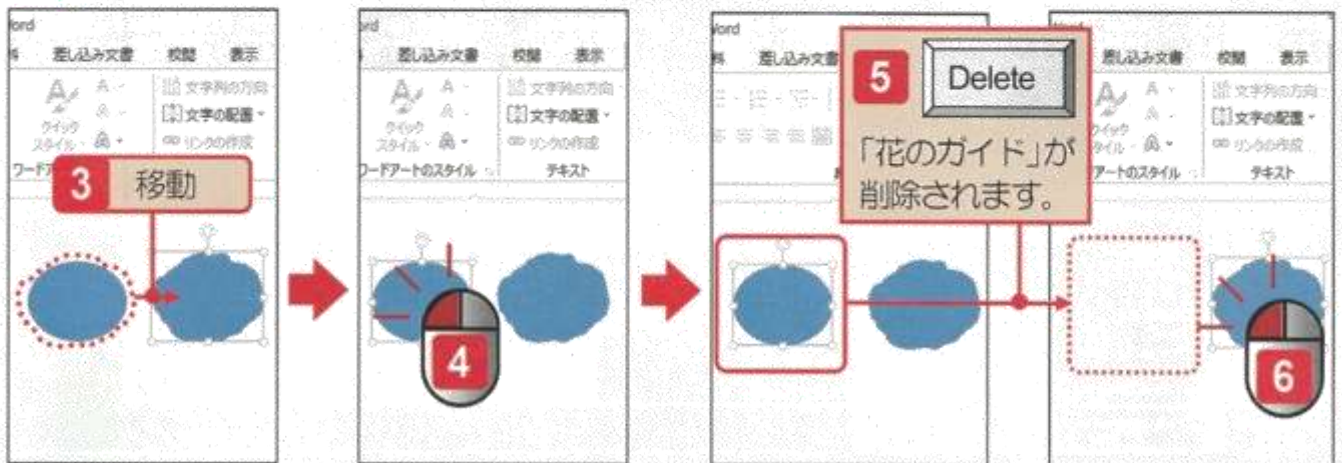
(次の図は、操作をわかりやすくするために拡大しています。)



- 3 「花びら (図形)」をドラッグして「花のガイド」の右横に移動します。
- 4 「花のガイド」をクリックして「花のガイド」を選択します。
- 5 「花のガイド」が選択されている状態で、[Delete] キーを押します。

「花のガイド」が削除されます。

- 6 「花びら (図形)」をクリックします。

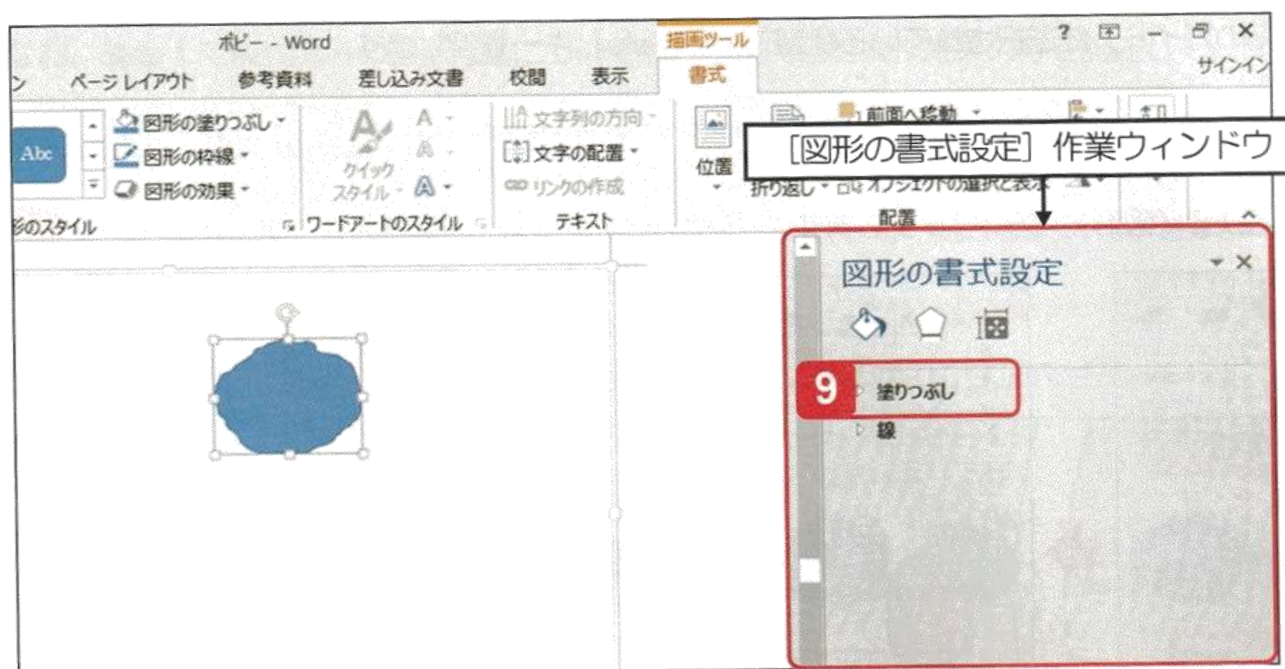


- 7 「花びら (図形)」が選択されている状態で、[描画ツール] の [書式] タブをクリックします。
- 8 [図形のスタイル] グループの右端にある [図形の書式設定] 作業ウィンドウを表示するボタンをクリックします。



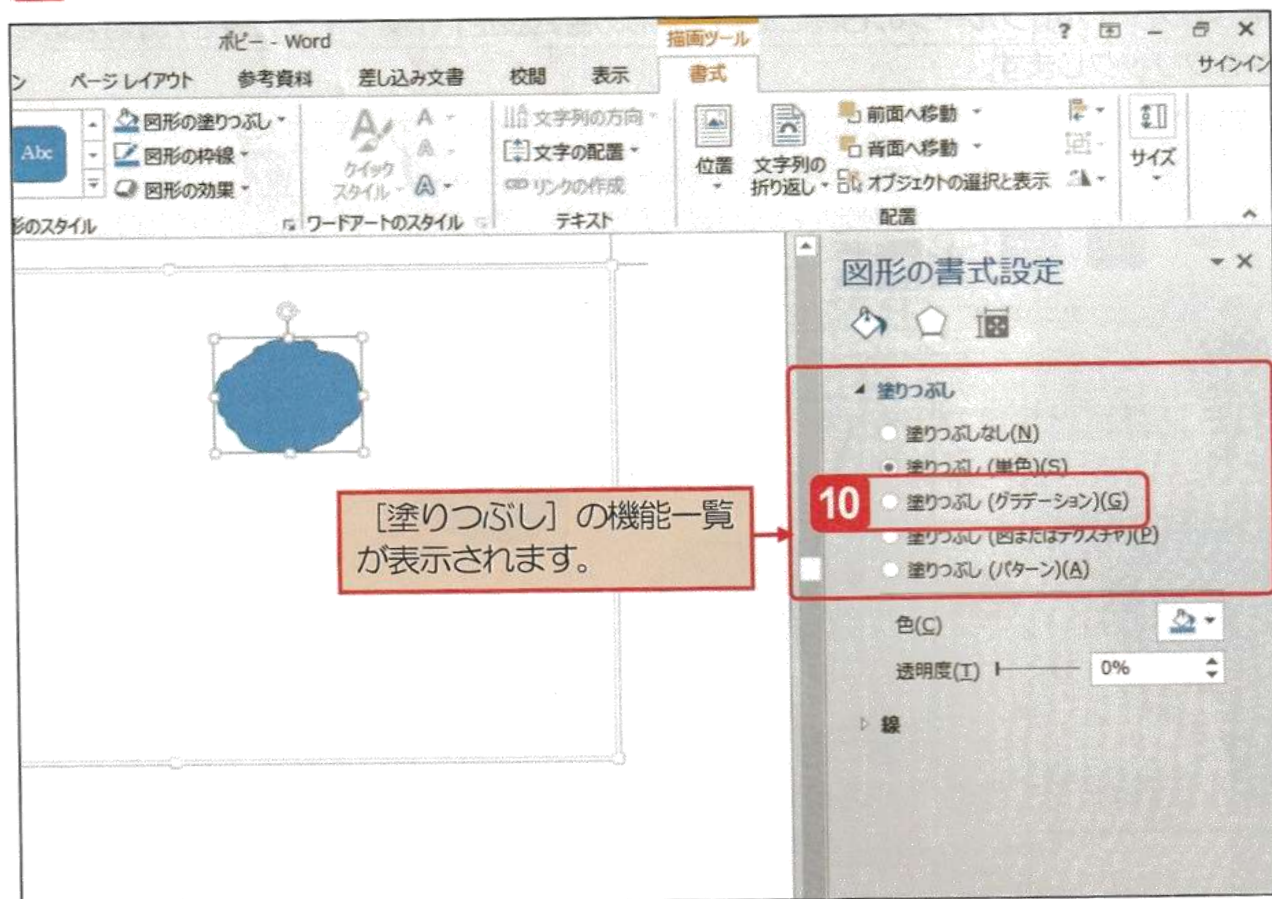
編集ウィンドウの右端に [図形の書式設定] 作業ウィンドウが表示されます。

9 [塗りつぶし] をクリックします。

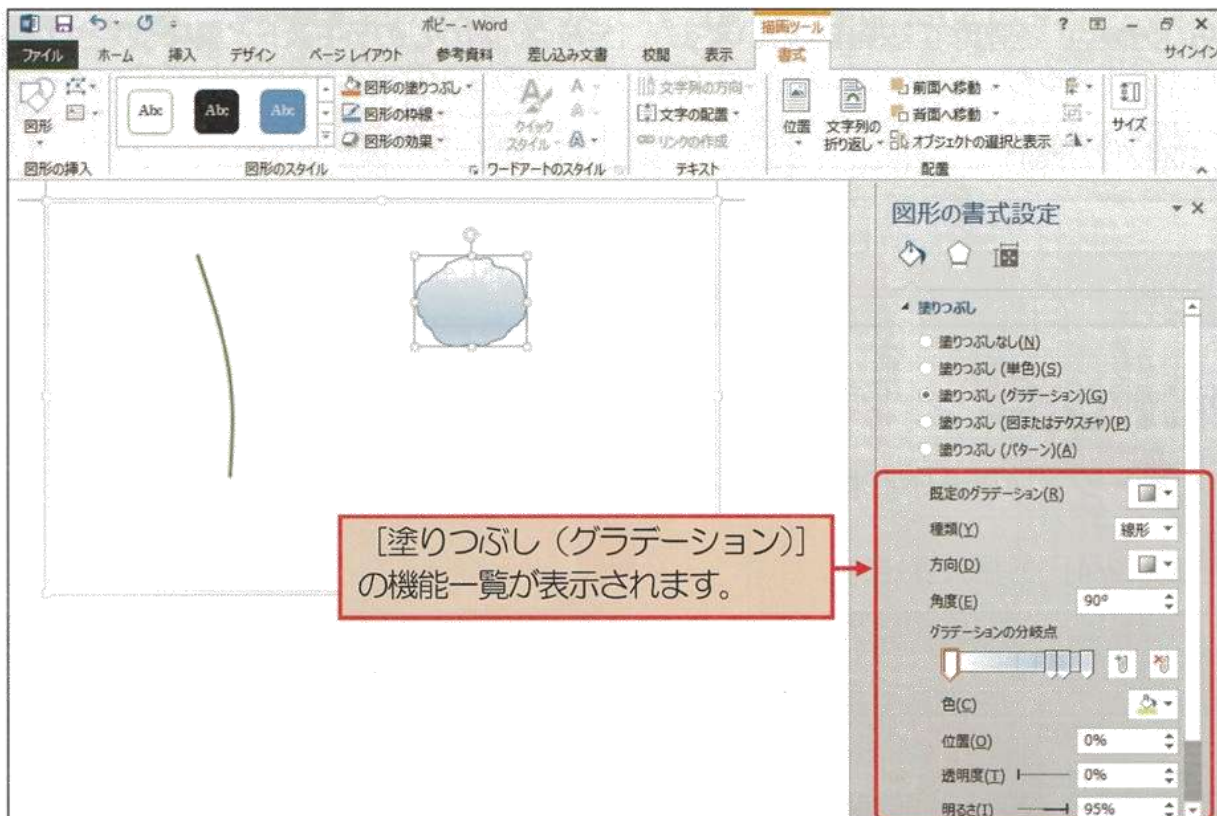


[塗りつぶし] の機能一覧が表示されます。

10 [塗りつぶし (グラデーション)] をクリックします。



[塗りつぶし (グラデーション)] の機能一覧が表示されます。

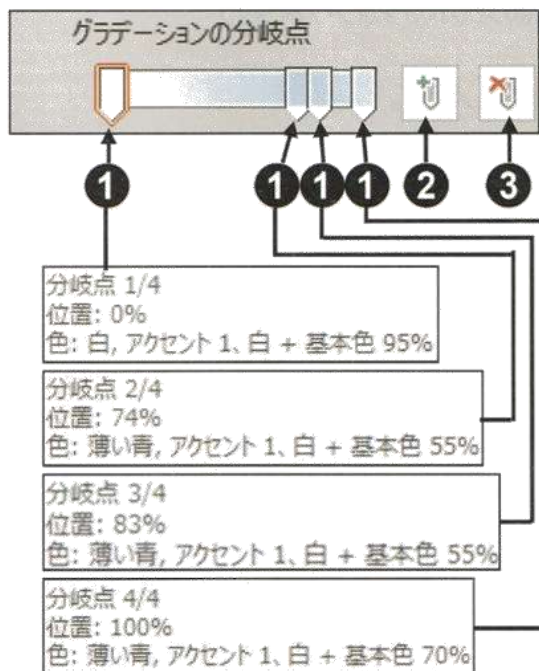


操作のポイント

グラデーションの分岐点の機能

[塗りつぶし (グラデーション)] の [グラデーションの分岐点] には次のような機能があります。

注意: [塗りつぶし (グラデーション)] を何度か使用したことがある Word では、グラデーションの分岐点の「色」、「数」、「位置」などがテキストの図と異なることがあります。



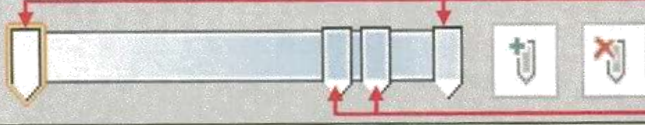
番号	名称	機能
①	分岐点	グラデーションに使用する色の分岐点(色と色の境界)を指定します。分岐点は分岐点の番号と分岐点の総数による分数で表示されます。 例) 分岐点 1/4 マウスのドラッグで分岐点を移動できます。
②	グラデーションの分岐点の追加	グラデーションの分岐点を追加します。
③	グラデーションの分岐点の削除	グラデーションの分岐点を削除します。

操作のポイント

グラデーションの分岐点の削除

これから [分岐点] を削除する操作を行います。分岐点の数がこのテキストと異なる場合は、これからの操作を参考に右端と左端の分岐点を残して、そのほかの分岐点を削除して下さい。

グラデーションの分岐点



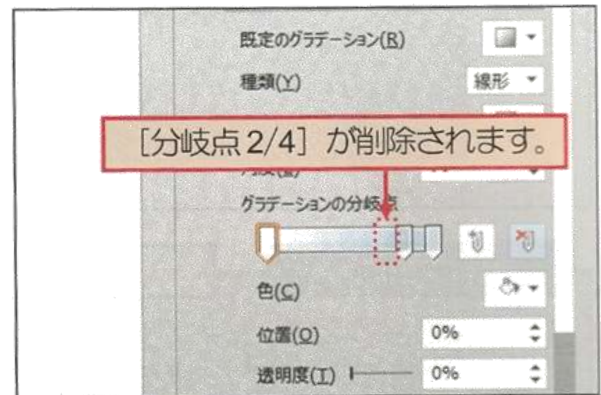
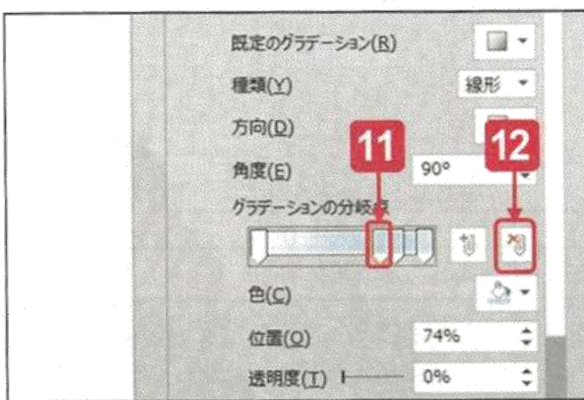
右端と左端の分岐点を残します。

左端と右端の分岐点以外の分岐点を削除します。

11 [分岐点 2/4] をクリックします。

12 [グラデーションの分岐点の削除] ボタンをクリックします。

[分岐点 2/4] が削除されます。

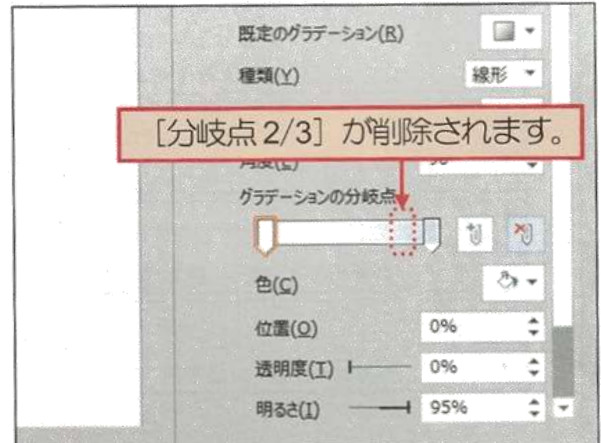
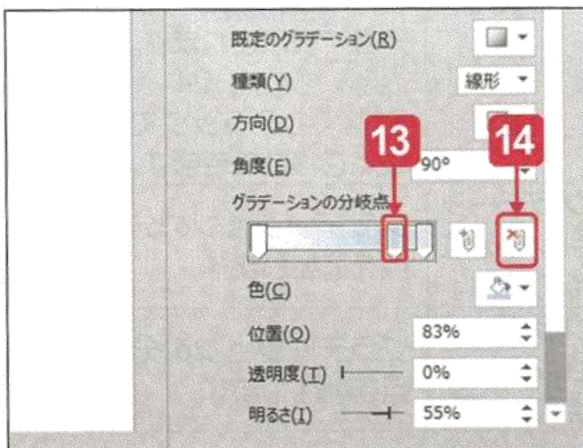


13 [分岐点 2/3] をクリックします。

(注意：分岐点の総数が3つになったため、分岐点の表示が変わります。)

14 [グラデーションの分岐点の削除] ボタンをクリックします。

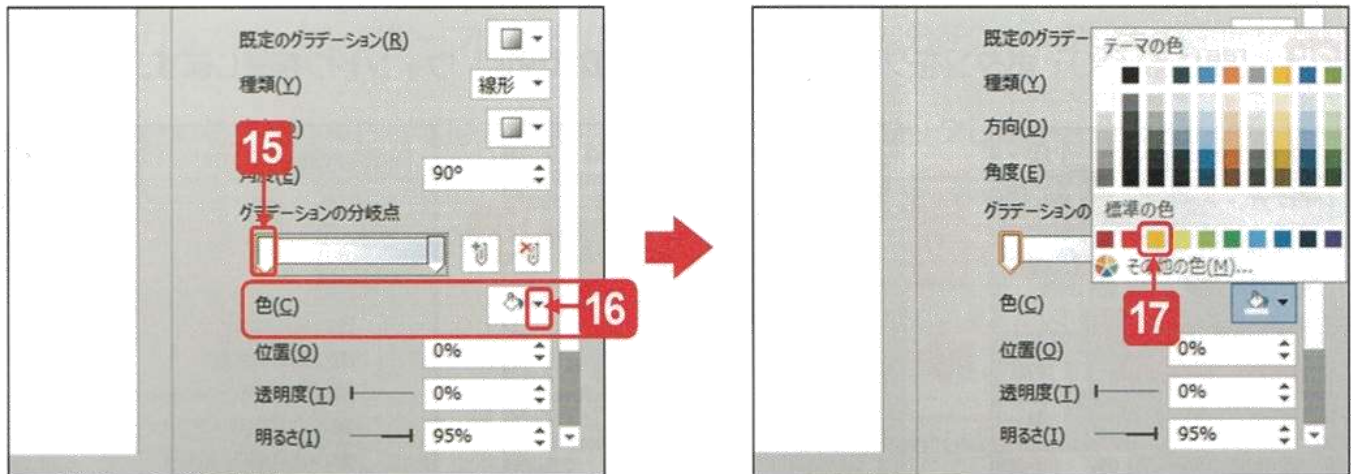
[分岐点 2/3] が削除されます。ここまでの操作で右端と左端の分岐点以外の分岐点を削除することができました。



15 [分岐点 1/2] をクリックします。
(注意：分岐点の総数が2 つになったため、分岐点の表示が変わります。)

16 [色] の右端にある [下向き三角 (▼)] ボタンをクリックします。

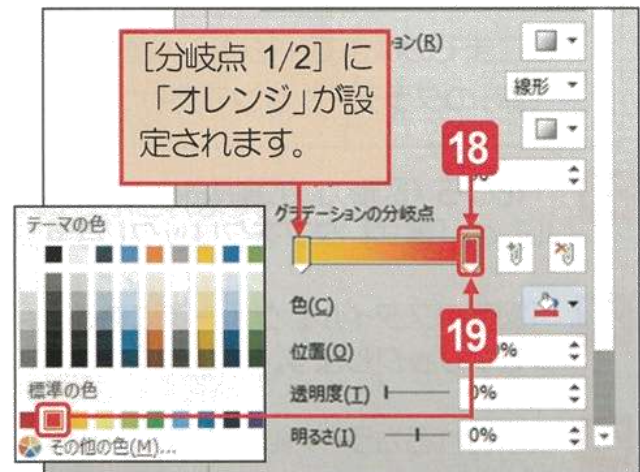
17 表示されるカラーパレットから [オレンジ] をクリックします。



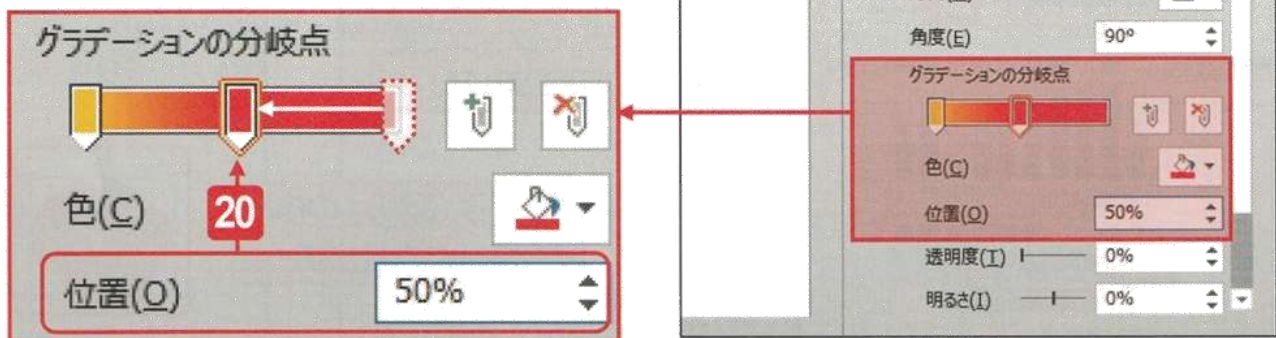
[分岐点 1/2] に「オレンジ」が設定されます。

18 [分岐点 2/2] をクリックします。

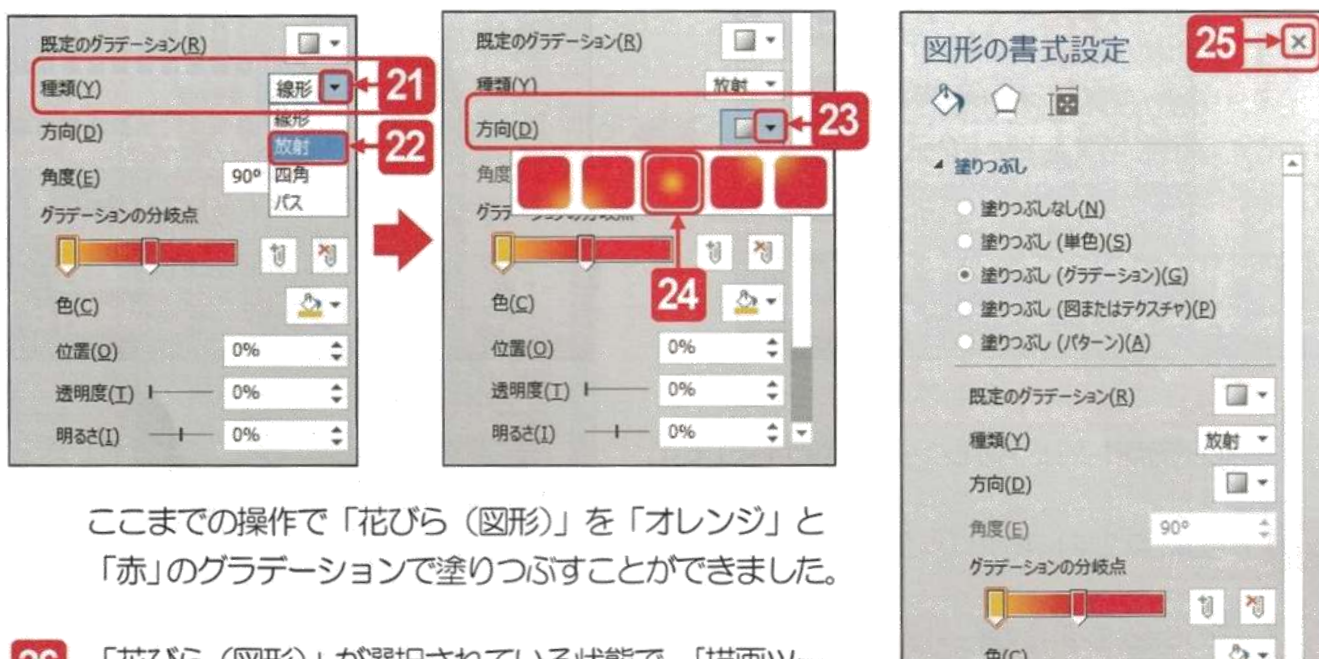
19 このStepの **16** から **17** までと同様の操作で [分岐点 2/2] に「赤」を設定します。



20 [分岐点 2/2] を [位置] の数値が 50% になるまで左方向へドラッグします。



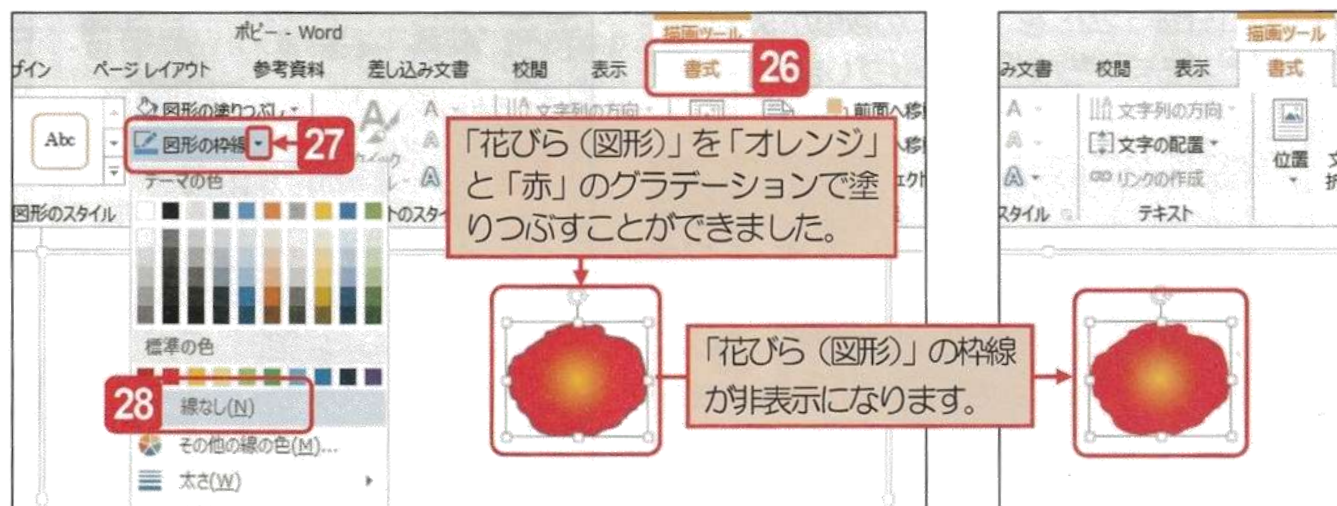
- 21 [種類] の右端にある [下向き三角 (▼)] ボタンをクリックします。
- 22 表示されるメニューから [放射] をクリックします。
- 23 [方向] の右端にある [下向き三角 (▼)] ボタンをクリックします。
- 24 表示される [グラデーションの方向] メニューから [中央から] をクリックします。
- 25 [閉じる (X)] ボタンをクリックして [図形の書式設定] ウィンドウを閉じます。



ここまでの操作で「花びら (図形)」を「オレンジ」と「赤」のグラデーションで塗りつぶすことができました。

- 26 「花びら (図形)」が選択されている状態で、[描画ツール] の [書式] タブをクリックします。
- 27 [図形のスタイル] グループにある [図形の枠線] の右端にある [下向き三角 (▼)] ボタンをクリックします。
- 28 表示されるカラーパレットから [線なし] をクリックします。

「花びら (図形)」の枠線が非表示になります。

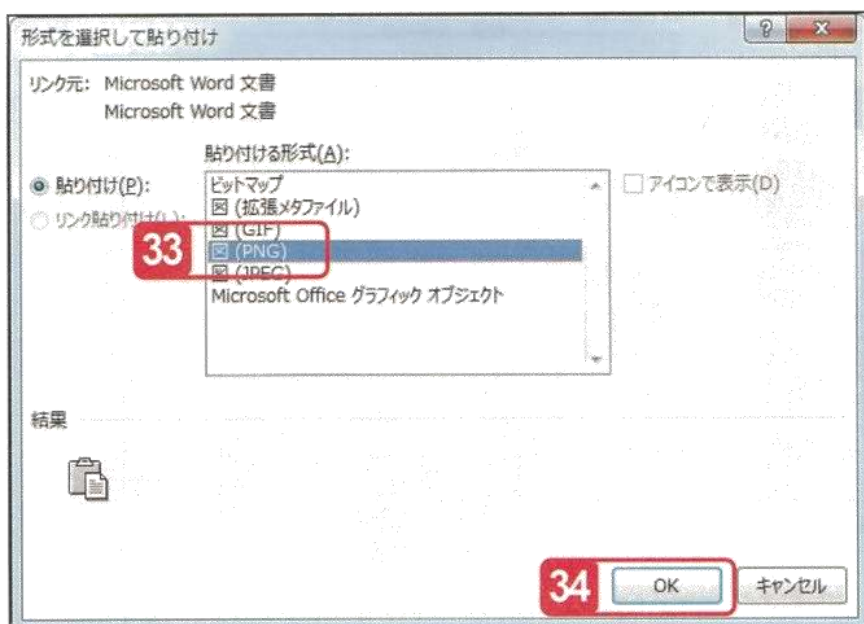


- 29** 「花びら (図形)」が選択されている状態で、[ホーム] タブをクリックします。
- 30** [クリップボード] グループにある [切り取り] をクリックします。
(「花びら (図形)」を残しておきたい場合には [コピー] 機能を使用してもかまいません。)
- 「花びら (図形)」が切り取られます。
- 31** [クリップボード] グループにある [貼り付け] の文字の部分をクリックします。
- 32** 表示されるメニューから [形式を選択して貼り付け] をクリックします。



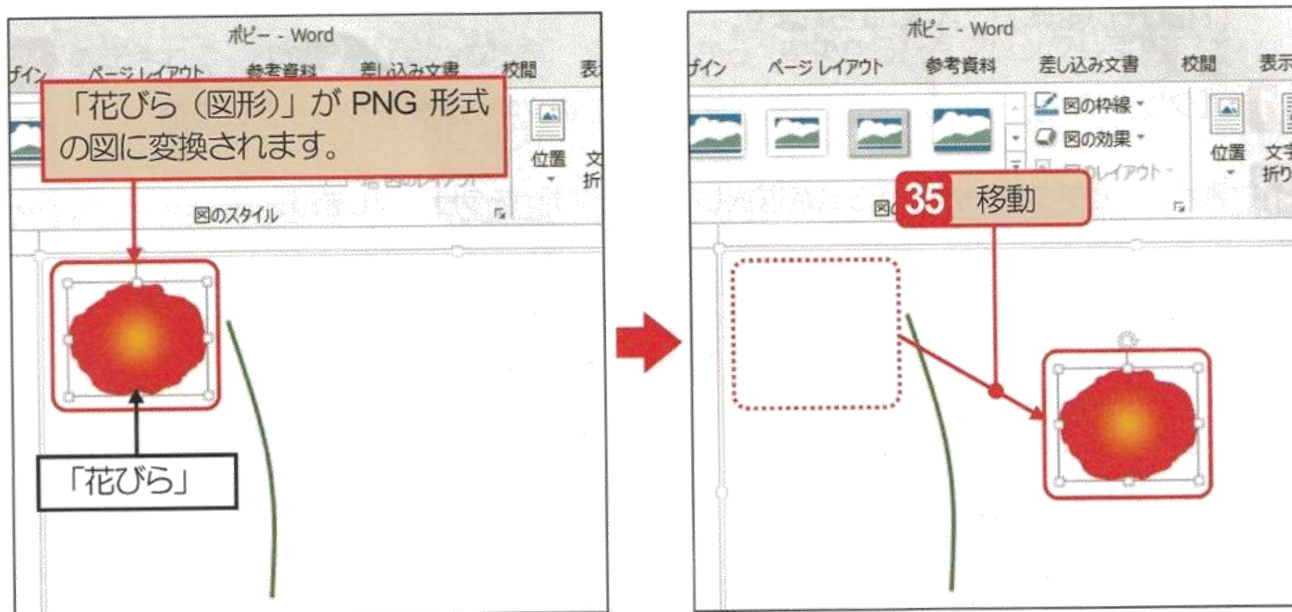
[形式を選択して貼り付け] ダイアログボックスが表示されます。

- 33** [貼り付ける形式] の一覧から [図 (PNG)] をクリックします。
- 34** [OK] ボタンをクリックします。



「花びら (図形)」が PNG 形式の図に変換されて描画キャンバスの左上端に貼り付きます。
これを「花びら」とします。

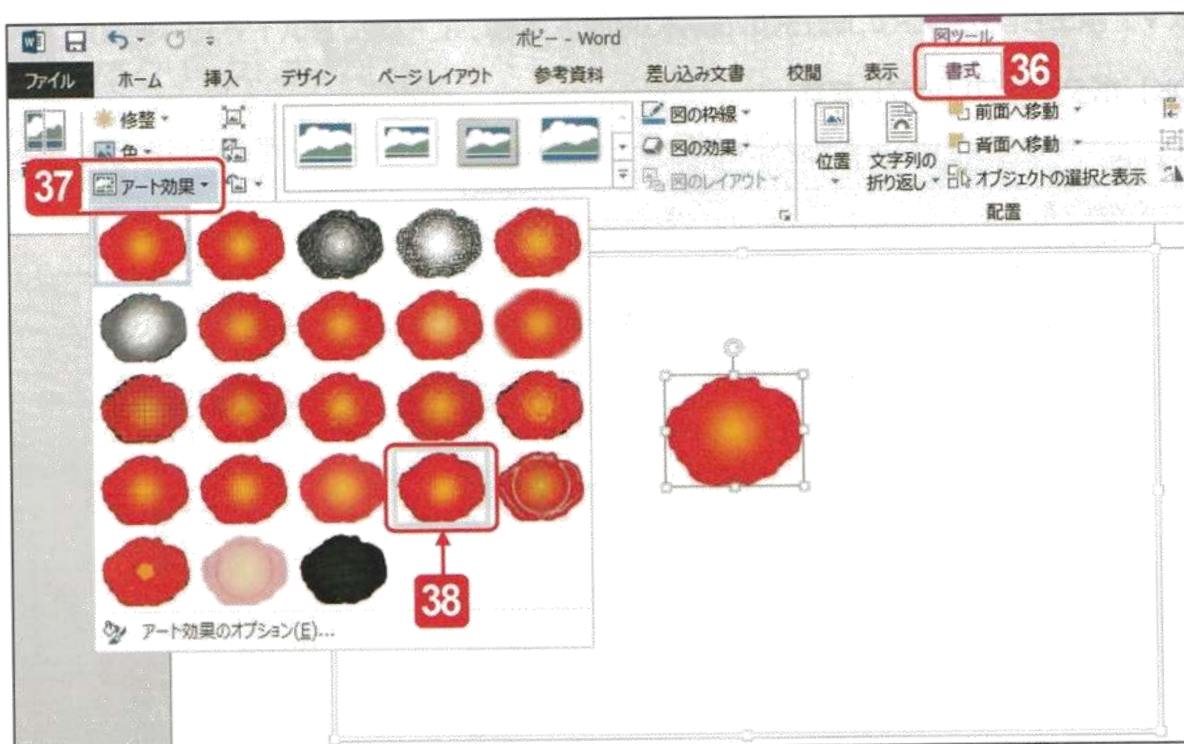
35 「花びら」をドラッグして描画キャンバスの中央付近に移動します。



36 「花びら」が選択されている状態で、[図ツール] の [書式] タブをクリックします。

37 [調整] グループにある [アート効果] をクリックします。

38 表示されるメニューから [パステル：滑らか] をクリックします。



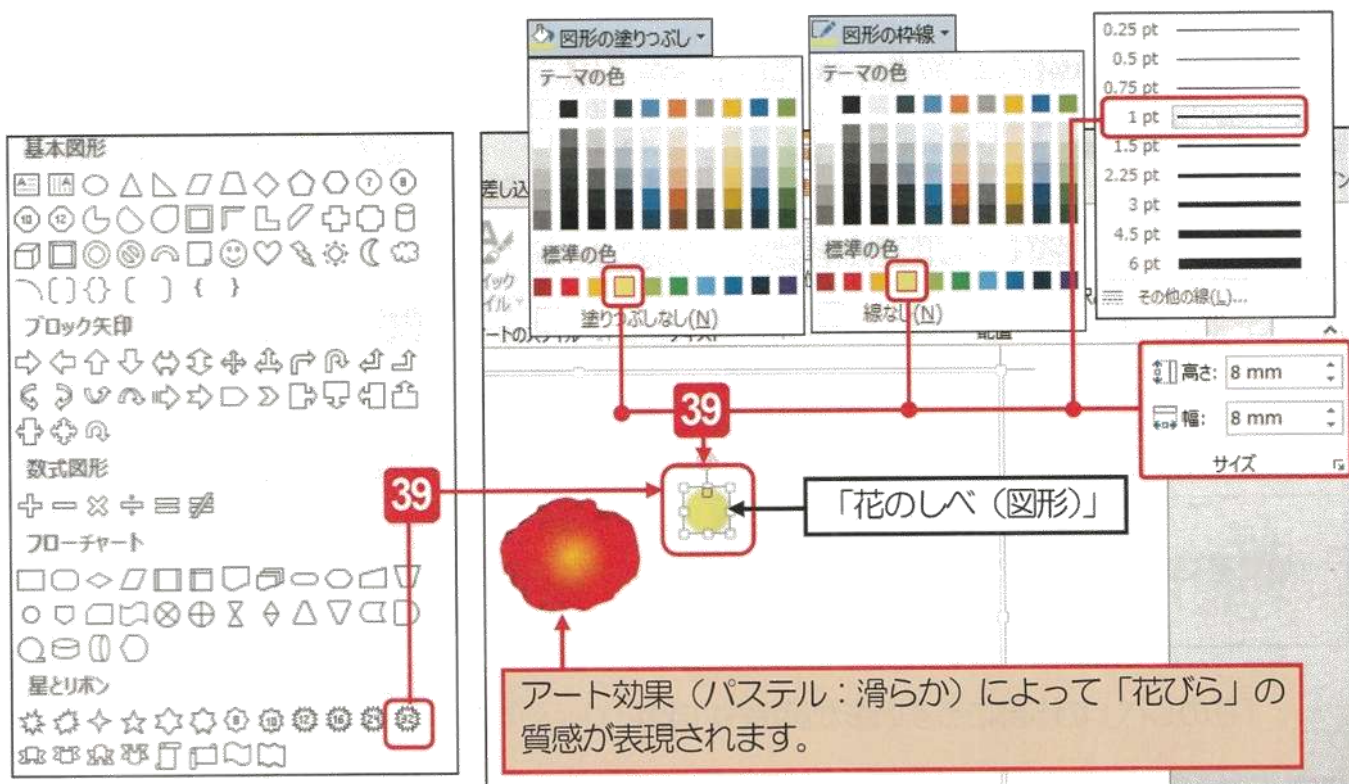
アート効果 (パステル:滑らか) によって「花びら」の質感が表現されます。

- 39** 「花びら」の右横に [星とリボン] セクションにある [星 32] を使用して、次の設定の星 32 を描きます。これを「花のしべ (図形)」とします。

[サイズ] - [図形の高さ]: 8mm [図形の幅]: 8mm

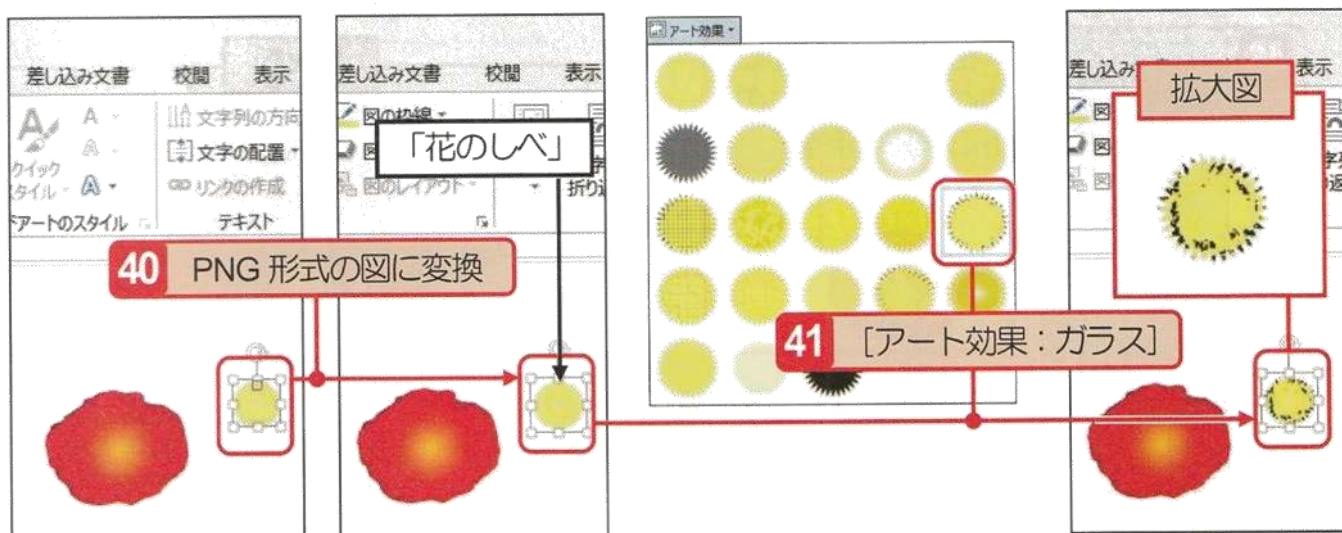
[図形の塗りつぶし] - [塗りつぶしの色]: 黄

[図形の枠線] - [枠線の色]: 黄 [枠線の太さ]: 1pt

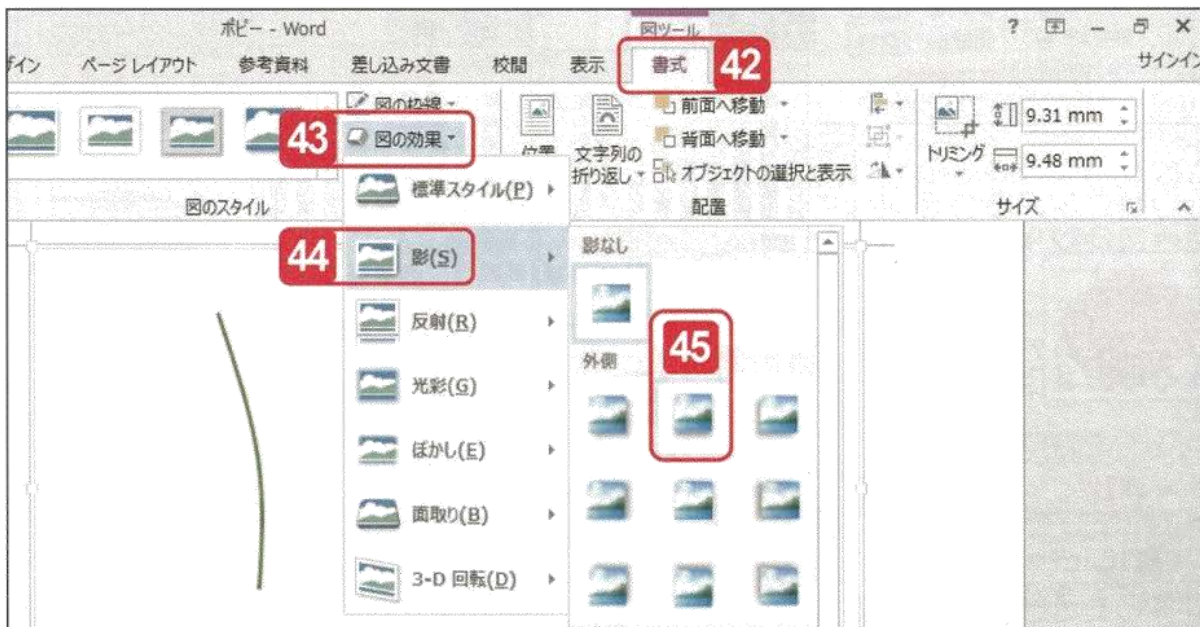


- 40** 「花のしべ (図形)」が選択されている状態で、この Step の **29** から **34** までと同様の操作で「花のしべ (図形)」を PNG 形式の図に変換します。これを「花のしべ」とします。

- 41** 「花のしべ」が選択されている状態で、この Step の **36** から **37** までと同様の操作で [アート効果] のメニューを表示して [ガラス] を設定します。

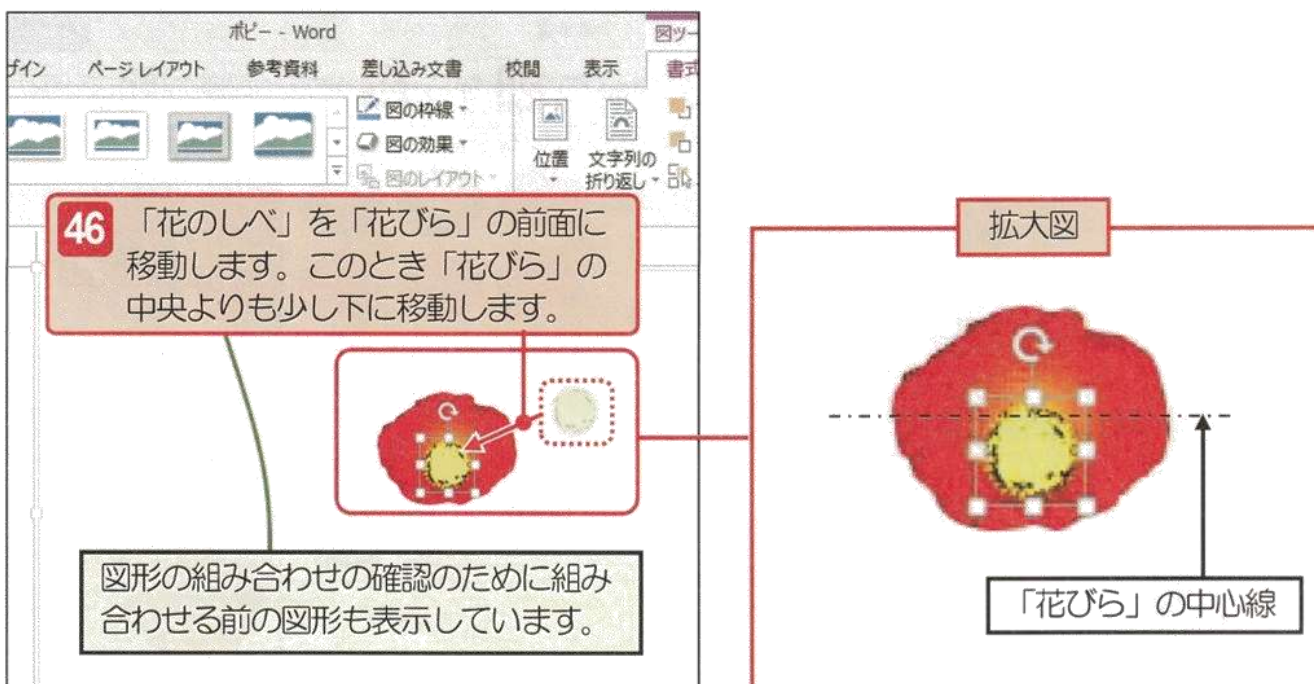


- 42 「花のしべ」が選択されている状態で、[図ツール] の [書式] タブをクリックします。
- 43 [図のスタイル] グループにある [図の効果] をクリックします。
- 44 表示されるメニューから [影] をポイントします。
- 45 表示されるメニューから [外側] セクションにある [オフセット (下)] をクリックします。



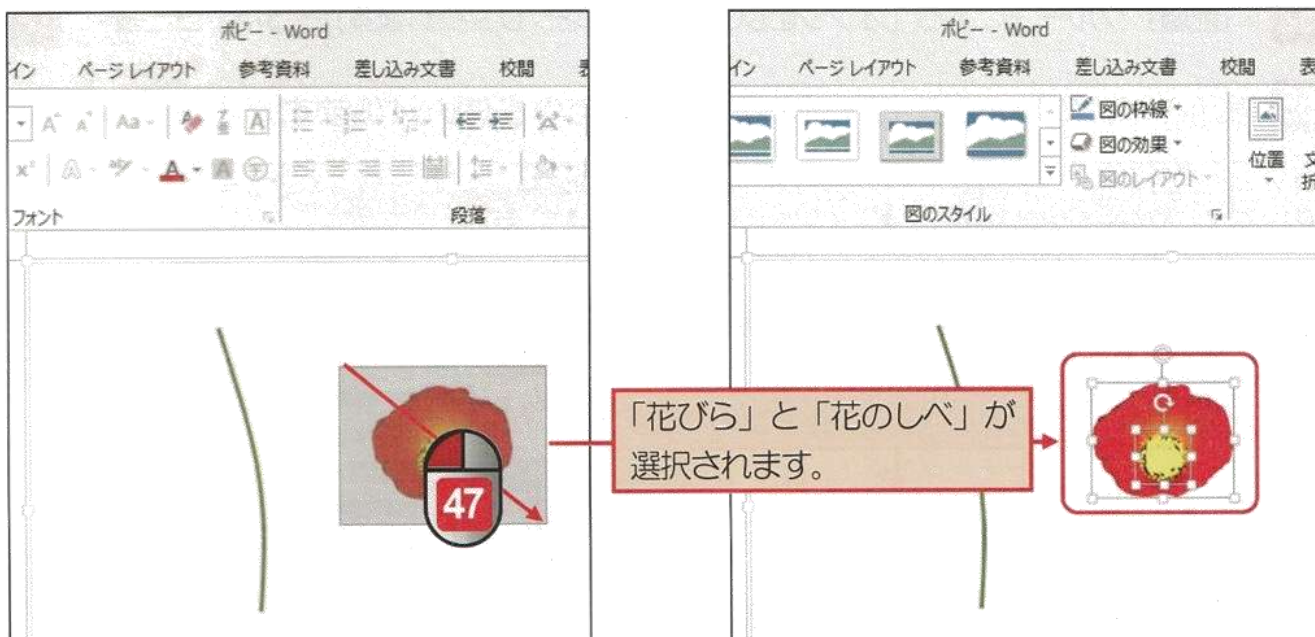
「花のしべ」の下部にうすい影が設定されます。

- 46 「花のしべ」を「花びら」の前面に移動します。このとき「花びら」の中央よりも少し下に移動します。



47 「花びら」と「花のしべ」を囲むようにドラッグします。

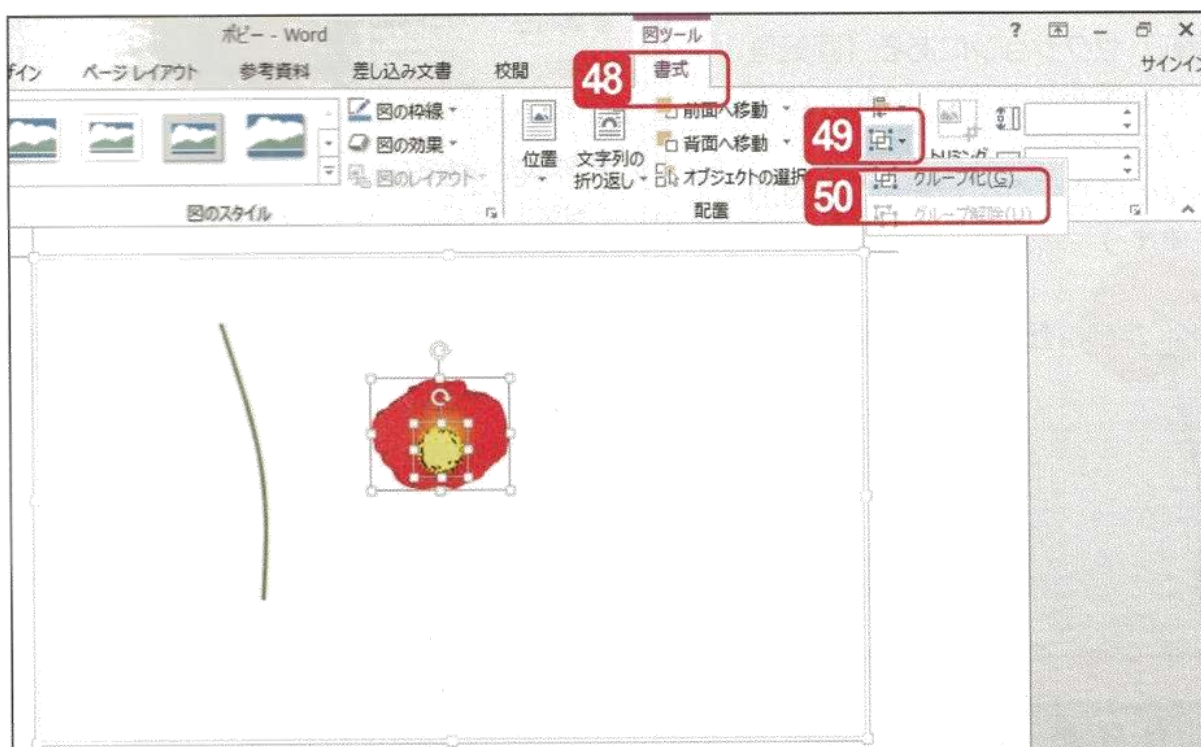
「花びら」と「花のしべ」が選択されます。



48 「花びら」と「花のしべ」が選択されている状態で、[図ツール] の [書式] タブをクリックします。

49 [配置] グループにある [オブジェクトのグループ化] をクリックします。

50 表示されるメニューから [グループ化] をクリックします。

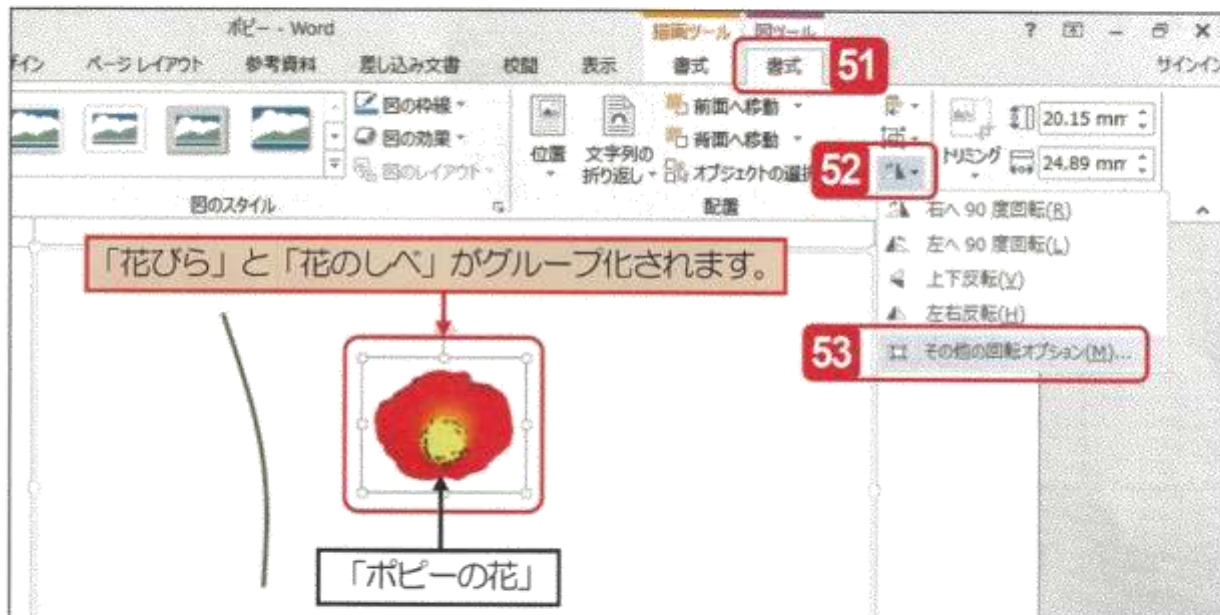


「花びら」と「花のしべ」がグループ化されます。これを「ポピーの花」とします。

51 「ポピーの花」が選択されている状態で、[図ツール] の [書式] タブをクリックします。

52 [配置] グループにある [オブジェクトの回転] をクリックします。

53 表示されるメニューから [その他の回転オプション] をクリックします。



[サイズ] タブの設定項目が表示された [レイアウト] ダイアログボックスが表示されます。

54 [回転] セクションにある [回転角度] の数値ボックスに「340」と入力します。

(角度の単位「°」は自動的に付加されます。)

55 [OK] ボタンをクリックします。



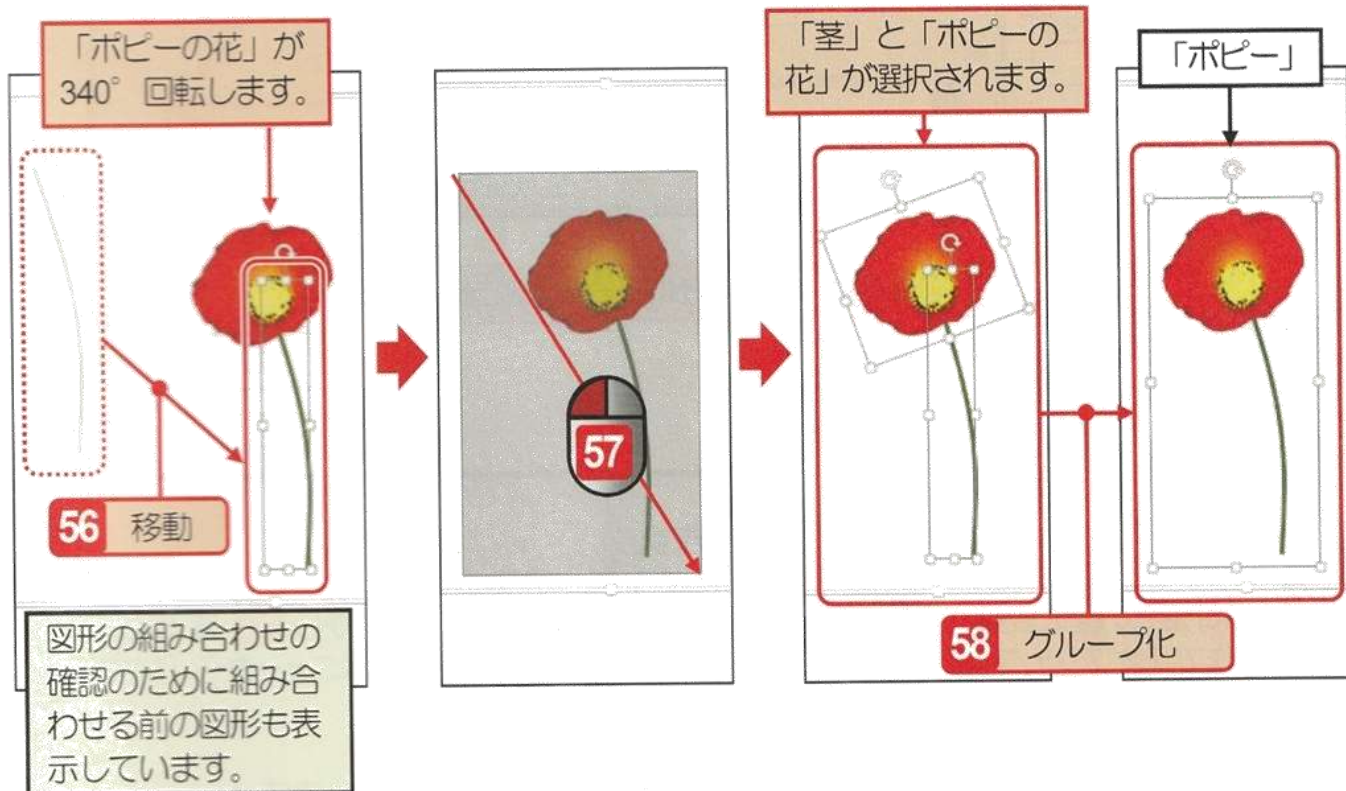
「ポピーの花」が340°回転します。

56 「茎」を「ポピーの花」の下部に移動します。

57 「茎」と「ポピーの花」を囲むようにドラッグします。

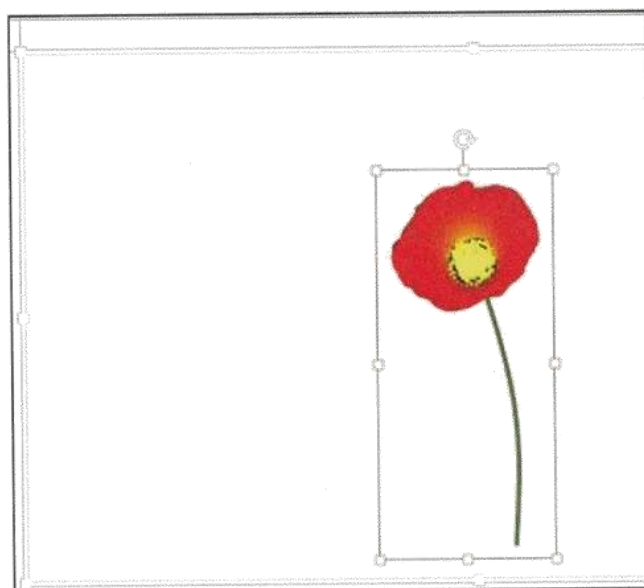
「茎」と「ポピーの花」が選択されます。

58 「茎」と「ポピーの花」が選択されている状態で、このStepの**48**から**50**までと同様の操作で「茎」と「ポピーの花」をグループ化します。これを「ポピー」とします。



ここまでの操作で「ポピー」を描くことができました。

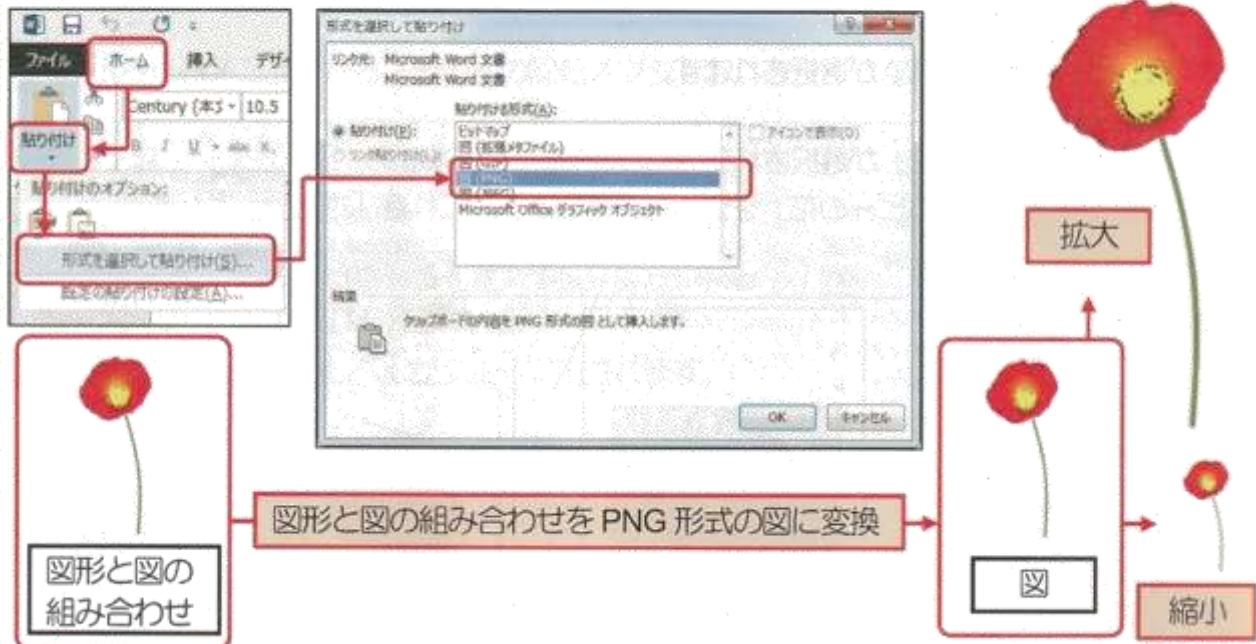
ここまでの操作を「ポピー.docx」に上書き保存しておきましょう。



操作終了

参考：描画した「ポピー」の利用方法 PNG形式の図に変換

「ポピー」をクリップアート（挿絵）として利用するときには、Step 2の 29 から 34 までと同様の操作で図形と図の組み合わせをPNG形式の図（画像）に変換することで「ポピー」の形状を維持したまま拡大・縮小ができます。



参考

21 ページのイラストは次の手順で描画しています。

- 1 PNG形式の図に変換した「ポピー」を複製した後、Step 2の 51 から 52 までと同様の操作で [オブジェクトの回転] メニューを表示します。表示されたメニューから [左右反転] をクリックして複製した「ポピー」を左右反転させます。
- 2 複製した「ポピー」のサイズを小さくして「ポピー」に右横に配置します。

